

# こどもの権利に関する条例（仮称）制定に向けた 意見聴取結果

## 【こども食堂利用者及び高校生富山県議会参加者】

令和 6 年 11 月 20 日

富山県厚生部 こども家庭室 こども政策課

# 意見聴取の概要（こども食堂利用者）

## 1 意見聴取実施期間

令和6年10月26日～11月4日

## 2 意見聴取方法

インターネット上の回答フォームより回答

## 3 対象者及び回答者数

対象者：県内こども食堂を利用するこども

回答者数：9名

## 4 設問内容

- ・回答者属性
- ・こどもの権利擁護、こどもの意見の尊重等に関する意識

# 回答結果（こども食堂利用者）

## 1 あなたの学年を教えてください。

設問	回答者数	回答割合
小学1～3年生	2名	22.2%
小学4～6年生	2名	22.2%
中学生	1名	11.1%
高校生	0名	0%
無回答	4名	44.4%

## 2 あなたは、自分のことを大事にしていますか。

設問	回答者数	回答割合
とても思う	3名	33.3%
すこし思う	5名	55.6%
あまり思わない	0名	0%
まったく思わない	0名	0%
わからない	1名	11.1%

## 回答結果（こども食堂利用者）

3 あなたは、まわりの人に自分のことを大事にされていると思いますか。

設問	回答者数	回答割合
とても思う	5名	55.6%
すこし思う	3名	33.3%
あまり思わない	0名	0%
まったく思わない	1名	11.1%
わからない	0名	0%

4 「あなたにとっていちばんよいことはなにか」を考えてくれる人はいますか。

設問	回答者数	回答割合
いる	8名	88.9%
いない	1名	11.1%

## 回答結果（こども食堂利用者）

5 それは誰ですか。当てはまる人を全て選んでください。（複数選択）

設問	回答者数	回答割合
一緒に住んでいる家族	7名	77.8%
きょうだい	4名	44.4%
親戚	4名	44.4%
ともだち	5名	55.6%
学校の先生	2名	22.2%
スクールカウンセラー	0名	0%
放課後児童クラブの先生	0名	0%
塾や習いごとの先生	1名	11.1%
そのほかの相談する場所	0名	0%
電話相談	0名	0%
その他	2名	22.2%

（その他の回答内容）

こども食堂スタッフ（2名）

## 回答結果（こども食堂利用者）

- 6 あなたは、あなたの気持ちや意見を聴いてもらって嬉しかったことはありますか。

設問	回答者数	回答割合
よくある	5名	55.6%
たまにある	3名	33.3%
あまりない	0名	0%
ほとんどない	1名	11.1%
わからない	0名	0%

# 回答結果（こども食堂利用者）

7 それは誰に聞いてもらったときですか。当てはまる人を全て選んでください。  
（複数選択）

設問	回答者数	回答割合
一緒に住んでいる家族	6名	66.7%
きょうだい	2名	22.2%
親戚	3名	33.3%
ともだち	4名	44.4%
学校の先生	2名	22.2%
スクールカウンセラー	0名	0%
放課後児童クラブの先生	0名	0%
塾や習いごとの先生	1名	11.1%
そのほかの相談する場所	1名	11.1%
電話相談	0名	0%
その他	1名	11.1%

（その他の回答内容）  
こども食堂スタッフ 1名

## 8 あなたが困ったときに助けてくれる人はいますか。

設問	回答者数	回答割合
いる	8名	88.9%
いない	1名	11.1%

## 回答結果（こども食堂利用者）

9 それは誰ですか。当てはまる人を全て選んでください。（複数選択可）

設問	回答者数	回答割合
一緒に住んでいる家族	6名	66.7%
きょうだい	2名	22.2%
親戚	4名	44.4%
ともだち	5名	55.6%
学校の先生	2名	22.2%
スクールカウンセラー	0名	0%
放課後児童クラブの先生	0名	0%
塾や習いごとの先生	0名	0%
そのほかの相談する場所	1名	11.1%
電話相談	0名	0%
その他	2名	22.2%

（その他の回答内容）

こども食堂スタッフ 2名

## 回答結果（こども食堂利用者）

- 10 あなたが悩みを相談するときに大事なことはなんだと思いますか。  
（複数選択可）

設問	回答者数	回答割合
自分が相談したことを誰にも 知られない	4名	44.4%
自分の意見を否定されない	3名	33.3%
みんなで一緒に考えてくれる	1名	11.1%
しっかりと話を聴いてくれる	5名	55.6%
その他	0名	0%

## 回答結果（こども食堂利用者）

- 11 周りの大人だけでなく、ひろく世の中の人みんなに伝えたいことや、知ってほしいことはありますか。

設問	回答者数	回答割合
ある	3名	33.3%
ない	2名	22.2%
わからない	4名	44.4%

- 12 それは何ですか。（自由記載）

- 一人でかかえず、SOSを発すること。必ず受け取ってくれる人はいる。

## 回答結果（こども食堂利用者）

- 13 大人が中心だった社会から「こどもまんなか社会」（すべてのこどもや若者が心も身体も幸せに生活できることを常に考える社会）に変えていくためには、何が大切だと思いますか。（自由記載）

権利擁護に関するもの (2件)	思いやり
	愛と感謝
その他 (7件)	皆の協力と力を合わせる事が大切
	気合い
	会話
	無回答（4件）

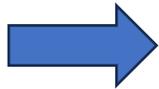
## 回答結果（こども食堂利用者）

- 14 自分らしく幸せに生きることを「ウェルビーイング」といいます。  
「ウェルビーイング」を高めるために、人や社会とのつながりのなかで、  
あなたが大切にしたいことは何ですか。（自由記載）

権利擁護に 関するもの (2件)	・信頼
	・思いやり
その他 (7件)	・皆とがんばりを続ける事
	・努力
	・会話
	・無回答 (4件)

## まとめ（こども食堂利用者）

- 1 自分のことを大事している割合（とても：33.3%、すこし：55.6%）やまわりの人に大事にされていると感じている割合（とても55.6%、すこし：33.3%）は高かった。
- 2 自分の意見や気持ちを聞いてもらってうれしかった経験がある割合も高かった。（よくある：55.6%、たまに：33.3%）
- 3 こどもまんなか社会変えていくために大切なことやウェルビーイングを高めるために大切にしたいこととして、思いやりなど権利擁護に関する回答があった。



・ 第4条第2項で「こどもは、自分の権利が他者から尊重されることと同じように、他者の権利を尊重するものとします。」と規定

## 1 意見聴取実施日

令和6年9月19日（木）

## 2 意見聴取方法

対面（県の施策を説明後、意見交換）

## 3 対象者及び回答者数

対象者：高校生富山県議会 子育て・人口減少委員会  
委員数：10名

## 意見聴取結果（高校生富山県議会）

- ・ 不登校の学生等が増えている中で、経済的な支援や施設の整備等いろいろな面でサポートされていることが分かった。今後の取組や、学校以外の安全安心な居場所づくりにも関心を持った。



- ・ 第17条で「県は、こどもが安全で安心して過ごせる居場所を持ちながら、多様な学びや遊び、体験活動等の機会に接することができる居場所づくりなどの促進を図ります。」と規定
- ・ 第15条で「県その他こどもの健やかな成長を支える者は、こどもの支援のための施策について、こどもが理解を深められるよう、こどもの視点に立った分かりやすい情報及び学ぶ機会の提供に努めます。」と規定